

三種町 議会定例会

令和8年3月三種町議会定例会
が、3月2日から13日までの会期
で開催されました。

新年度の施政方針と行政報告の
要旨、審議された主な議案等をお
伝えします。

施政方針

コロナ禍をはじめ、豪雨災害や
猛暑、国際情勢や物価高騰、有害
鳥獣の異常出没など、社会情勢の
変化は、日常生活や地域経済に大
きな影響を与えました。

こうした中、町の重要事業を計
画どおり進めながら、時代の変化
を見極めて町政を進めました。子
育て交流施設の開設、公共施設や
道路の改修等、ふれあい・巡回バ
スの運行拡充、森岳温泉活性化、
子育て・若者世代の定住施策等の
少子化対策、小中学校再編など、
各分野で施策を展開しました。

豊かな自然を有し、エネルギー
や環境施策のフロントランナーと
なるこの地域は、新しい産業が定

着する可能性を秘めており、本町
も2050年カーボンニュートラ
ル宣言に基づき、脱炭素社会の実
現に向けて取り組みます。

D Xの推進では、誰もが暮らし
やすい社会を目指し、将来のまち
づくりを見据えて取り組みます。

人口減少対策では、子育て・若
者世代の定着や子育て施策を充実
させ、粘り強く取り組みます。

本町の財政状況は現時点では健
全ですが、老朽化公共施設やイン
フラ施設の更新、天候不順による
農業関連への影響、人件費や物価
の高騰、大型事業に係る公債費な
ど、歳出の増加が予測されます。

8年度当初予算は、改選期のた
め骨格予算としますが、国の施策
を注視し、本町の諸課題を意識し
ながら、合併20年目の本年、新た
に策定した第2期「三種町みらい
創造プラン」の将来像「人・地域
がつながり、元気を未来へつなぐ
町」を継続したいまを次世代へ
ついでに実現するため、8年度は次
の施策を実施します。

定住 生涯住み続けたいまち

◆若者の定住支援

若者や子育て世代に向けて、結
婚支援、住宅取得支援、空き家バ
ンクの利用促進を継続します。
また地域おこし協力隊の活動を

推進し、町の魅力を発信します。

◆居住環境の整備

住宅リフォーム助成事業の継続
や、町営住宅の建て替えや修繕に
よる長寿命化に取り組みます。ま
た空き家や町営住宅の有効活用を
検討し、居住の安定を図ります。

◆安心して産み・子育てできる環 境づくり

保育環境の整備・充実では、病
児保育の受入施設拡充や、乳幼児
等通園支援により、地域全体で子
育てを支える環境を目指します。

また保育園の照明設備をLED
化し、安全性や快適性の向上と、
省エネルギー化による経費削減と
脱炭素化を推進します。

切れ目のない相談支援体制の充
実では、子育て交流施設みつしゅ
を拠点に、出産や子育て、親子の
健やかな暮らしを応援します。

◆教育環境等の充実

4月開校の三種中学校では、充
実した学校生活を送り、健やかに
成長できる環境を整備します。ス
クールバスを運行し、安心して通
学できる環境を整備します。

また山本・八竜小学校の開校に
向けて、施設整備を進めます。

学校教育の充実では、三種中学
校でSTEAM教育を推進し、子
どもたちの創造力や課題解決能力
を育み、質の高い教育の確立を目
指します。またGIGAスクール
構想に基づき、電子教科書の拡充
や校務D Xを推進します。

◆生涯学習の充実

みたね大学やコミュニティ・ス
クールを通じて、地域全体で学び
を支える仕組みを整備します。

芸術・文化振興では、各団体の
活動や後継者育成を支援します。

スポーツの推進では、中学校部
活動の地域移行を推進し、地域全
体で子どもたちのスポーツ・文化
への機会確保を目指します。

◆健康寿命の延伸

「みたね健康21計画」をもとに、
健康づくりの推進や、疾病予防の
取り組みを強化します。

またICTを活用して町民の健
康意識を高め、健康寿命の延伸を
目指します。

◆社会保障の充実

介護保険制度では「高齢者福祉
計画・第10期介護保険事業計画」
の策定に取り組み、持続可能な制
度の確立と地域包括ケア体制のさ
らなる充実を図ります。

◆社会福祉の充実

「おらほの敬老交流会等補助金」
を拡充し、交流の促進や生きがい
づくり、地域の見守りや支え合い
が機能する環境を整備します。

また介護予防活動や健康づくり
を推進し、認知症への理解の普及
啓発に努め、地域全体で認知症家
族を支える体制を目指します。

障害者福祉の充実では「第4期
障がい者計画（後期）」を策定し、
地域で自立した生活が送られるよ
うな施策を推進します。